

政府が貴衆兩院の賛成を経て國策として之を遂行する以上八幡市會の反對は何等實効がないから、助成金の確保、労働者並に下級職員の整理防止、労働條件並に福利施設の維持改善、製鐵所擴張に伴ふ優先權の確保等を主張して當局の言質を得ることが至當であつて濫りに反對すべきにあらず、無産黨の反對理由は薄弱なり。

b、舊社民黨と公新會（政民兩黨）幹部の會見

來る四月の市議改選期を控へて製鐵所従業員の動向は黨勢の消長に多大の影響を有する關係上、政民兩黨に於ても共同問題に就いては舊社民黨と提携するが得策なるは言を俟たないので、公新會は舊社民黨に會見を申込み、一月二十三日夜市參事會室に於て双方の幹部（公新會側、正副議長、舊社民黨側濱橋、今岡、横大路の三名）會見し、公新會側は、條件付合同賛成を主張し舊社民黨も同一歩調

に出づることを希望したるに對し、

舊社民黨側は

黨として既に反對決議をなして運動を開始したる以上今更條件付合同賛成案に同じ難し、然しながら政府が議會の協賛を経て斷行する以上徒らに反對行動を採ることは、労働者並に市政上に及ぼす悪結果をも考へねばならないので、絶対反對を單に合同反對とし、且つ斷行する、場合に至れば諸條件を獲得を目標に公新會と同様運動するも可なり。而して舊勞大、國社黨の如く、主張貫徹せざる場合のストライキ提唱に對しては現下の國情と我黨の傳統的精神よりして反對である。

かくて會見の結果舊社民黨と公新會とは其の精神に於て一致點を見出したのである。

c、市會開會、上京委員の東上、